

令和2年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
生駒 弘 議 員	1 町民生活の安心安全について	(1) 少子化対策について ① 結婚新生活支援事業の導入は出来ないか。 (2) 台風対策について ① 各集落の公民館に雨戸を付けることは出来ないか。	町 長
良岡理一郎 議 員	1 新型コロナウイルス感染症対策について	<p>質問通告書は11月18日時点で作成。第3波の感染拡大が起こりつつある。今日までの状況は日々刻々と変化しており、それらを踏まえて答弁をお願いしたい。</p> (1) 10月初旬の本町初の感染確認の対応について伺う。 ① 初の感染が確認されたとする10月5日から警戒レベルを引き下げた10月20日の間の主な出来事と対応を時系列で説明願う。 ② 5日に抗原検査で感染を発表した1歳児については、PCR検査の結果、偽陽性であった。当初の発表時期は適切であったのか。PCR検査をまつべきではなかったか。認識を伺う。 ③ 感染者の感染確認後の隔離(保護)は医療機関、宿泊施設としているが7日に発表された40代女性の感染者の隔離は適切であったか。 ④ 偽陽性だった1歳男児のご家族皆さん、御家族と交流があった多くの方々が風評被害を受けている。また40代女性と集落の方々も大変な思いを強いられた。町の認識と対策について伺う。 (2) 10月の経験、天候に左右される交通機関の運行状況から本町でもPCR検査ができる体制を早急に構築すべきである。 ① 抗原検査、PCR検査の現状を伺う。 ② WHOは、何度も「検査、検査、検査」を徹底し陽性者を隔離(保護)することが最善策と指摘している。本町でもPCR検査体制を整え、まずは「病院介護施設等への社会的検査」を実施することが町民の安心・安全に不可欠である。準備状況を伺う。 (3) 民間医院の閉院に伴う、町診療所の診療拡充、利用状況を伺う。	町 長

令和2年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
良岡理一郎 議員	2 自然災害対策について	<p>(1) 災害対策主体の順序は公助・共助・自助の順であるべきである。公的・社会的支援体制があつてこそ、安心して町民は出来る範囲で備えることができる。そこで新型コロナ禍における公的支援の重点である自然災害対策の準備状況を伺う。</p> <p>① 前回の台風で1000名近い町民が避難され、多くの備蓄品が消費された。今後、避難される町民の想定人員と備蓄品の準備状況を伺う。</p> <p>② 9月の台風以降、防災無線の受信が不安定であり、「コロナ対策をはじめ大事な情報が入ってこない」「修理をお願いしても修理に来ない」との町民の苦情が寄せられている。現状と対策を伺う。</p> <p>(2) 指定避難所、指定緊急避難所の多くは各集落の公民館である。先般の台風時には高齢者の皆さんの中には最寄りの公民館へ避難された方も大勢いた。暴風雨、樹木や木材、小石が飛ぶ中ではガラスの損壊が懸念される。雨戸が必要。そしてトイレも屋内が望まれる。</p>	町長
	3 共同墓について	<p>(1) 前回の定例会で、私が「当面、全世帯を対象にした町民の意向調査を実施したらどうか」とただしたことに対し「区長会で聞いてみる」との答弁だったが今後の方針・計画を伺いたい。</p>	町長
	4 教職員の残業実態 オンライン教育の準備について	<p>(1) コロナ禍での教職員の労働時間の改善について</p> <p>① 残業時間につき上限である45時間/月、過労死ラインの80時間/月は前年度対比でどう改善されたか。教頭先生の異常な労働実態は、改善されたか。</p> <p>② 2021年に向け8割の職員が改善を実感できる「アクションプラン」を設定している。進捗状況を伺う。</p> <p>(2) オンライン教育に向けてのタブレットの貸し出し準備、各家庭でのネット環境の条件整備の進捗を伺う。</p>	教育長
	5 行政懇談会について	<p>(1) 町長は、選挙公約で町民との懇談会を約束している。具体的計画を伺う。</p>	町長

令和2年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
米田信也 議員	1 空き家バンク制度について	(1) 制度の活用について ① 現状までの実績について。 ② 登録数の増加への対策について ③ 利用（移住）希望者からの問い合わせ状況、及び今後の課題について。 ④ 助成金等の制度の活用について。	町長
	2 ゴミ問題について	(1) ゴミ減量について ① リサイクルの現状と今後の展開について。 ② ゴミのポイ捨て、不法投棄に対する対策について。 (2) 最終灰について ① 処理の現状について。 ② 最終処分場建設について。	町長
	1 避難所の整備について	(1) 本庁では「喜界町ハザードマップ」作成をはじめ、普段から町民に自助、共助で防災意識を高める政策を実施しているが、近年の地球温暖化の影響で今後は、想定外の災害が起こることも想定される。 ① 地震、津波だけでなく台風も巨大化していることもあり、年1回は避難所の場所確認も含め訓練をしてほしいとの声があるが、実施できないか伺う。 ② 今年9月の台風10号襲来時、避難された方より、アルミサッシのガラスが強風で割れ、とても怖かったと伺った。避難所の戸を強化ガラス、雨戸、格子の設置等対策は考えられないか伺う。 ③ 台風10号襲来時の指定避難所は、集落公民館以外殆どが湾近辺である。早町地区の方々より、北部にも避難所を兼ねた施設建設の要望がある。検討できないか伺う。	町長
	2 集落担当職員の拡充について	(1) 行政と集落区長とのパイプ役となって広く、集落民の声を行政に反映させる仕組みを導入している。 ① この制度の成果と課題をどう分析しているか伺う。 ② この制度を集落活性化の協力員、事務局のような機能を果たしてくれる人材配置まで拡充し地域の社会教育団体の育成とその強化を期待する声がある。地区内の異世代交流と学びの場、人材育成のみならず緊急時の共助体制強化も期待できると思う。前向に検討出来ないか伺う。	町長

令和2年第4回定例会一般質問通告書

質問者	質問事項	質問要旨	答弁者
野間弘也 議員	1 町民との対話 について	(1) 今後の町政運営の中で、ゴミ問題や環境問題など、様々な問題解決には、町民の理解、協力が必要となります。町民と行政の協力体制を作るには、町民と首長との対話が必要であり、町民からも望む声があります。そのことから、町政懇談会や意見交換会などの取り組みについて町長の見解を伺う。	町長
	2 役場庁舎の環境 整備について	(1) 町民が訪れやすい庁舎環境、空気感を作ることは、町民と職員の距離を縮めることになり、また働きやすい環境を作ることにも繋がると考えます。そのことから伺う。 ① 庁舎内でBGMを流せないか。	町長
	3 ふるさと寄付金 事業について	(1) ふるさと寄付金は、自主財源を確保するための手段として、また喜界町の宣伝、農家や業者の収益向上にも大きな影響を与えます。そのことから取り組みを強化すべきと考えますが、町長の見解を伺う。 ① 担当部署の増員や拡充を図る必要があると考えるが見解を伺う。 ② 返礼品の拡充についての取り組みについて伺う。 ③ 基金運用の計画について伺う。	町長